



原子力災害って何ですか？

発電所の事故により、発電所から放射線や放射性物質が外に漏れてしまう災害のことです。

放射線による被ばくには、からだの外からうける外部被ばくと、体内にとりこむことによりからだの内側からうける内部被ばくがあります。被ばくを少なくするため、災害時には、正しい情報をもとに行動する必要があります。

東京電力では、災害に備え、自治体の地域防災の充実や避難計画の策定などに協力します。また、原子力災害が発生した場合は、当社社員を自治体に派遣することや衛星電話などを使用して、自治体や関係者に迅速・確実な情報提供を行います。



柏崎刈羽原子力発電所では、原子力災害を起こさないためにどのような取り組みを行っているのですか？



柏崎刈羽原子力発電所では、何層にも守りを備えておく「深層防護^{*}」の考え方で、福島第一原子力発電所の事故の反省に基づいて、安全対策をすすめています。

※各層の防護に失敗しても次の層で事態の悪化をくい止め、影響を最小限にとどめること



どんな時でも適切に行動できるよう、日々訓練を行っています。

東京電力は、福島原子力事故を忘れることなく、安全を追求し続けます

ホームページ 安全対策の詳細はホームページに掲載しています。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/index-j.html> 柏崎刈羽原子力発電所



お問い合わせ 新潟本社

025-283-7461

9:00~17:00(土日・祝日・年末年始除く)



東京電力

新潟本社